

令和7年度

「生きる」を支える栄養管理に
詳しくなりたい人ための

「NST臨地実習」

受講生募集

～短期集中講座で栄養管理の視野を広げよう～

参加料・登録料

無料

【日時】

6月23日(月)～27(金) AM8:30～PM17:15
1日研修 5日間

【会場】

日本海総合病院内 各所

【参加資格】

日本海総合病院職員(若干名)
※栄養管理、NSTに興味・関心がある方！

勤務内

《主な研修内容》

- * 栄養管理の基礎知識
- * 食事摂取状況調査
- * 栄養管理の感染対策
- * 褥瘡評価・予防
- * 胃瘻造設の見学 摂食機能療法
- * 周術期の栄養管理(NSTチェアマンより)
- * 栄養評価スクリーニング・VE見学
- * 静脈栄養・経管栄養の基礎知識(薬剤部より) 他

栄養管理を学びたい人を募集しています！

他病院からの研修生と共に学び、日々の看護に活かしてみませんか？

お申込み
お問い合わせ

TEL 6221 (NST事務局:小林大樹管理栄養士 平日:10:00～17:00)

TEL 7277 (NSTリンク委員会:池田真喜摂食・嚥下CN 水・木:8:30～17:15)

令和7年度
締切

4/25

* お申し込み方法 *

- ①まずは所属長へ相談(勤務調整の可否)
- ②所属長から上記へお電話またはCoMedixで申し込み(所属、氏名、現在の役割など)
「今はNSTリンクじゃないけど、受けられるの？」
「興味はあるけど今年はちょっと・・・来年の予約はできる？」
など、本人から直接のご相談・ご質問も受け付けています。お気軽にご連絡ください。

「NST臨地実習」参加者募集のお知らせ

2025年2月

<目的>

院内の栄養ケアの質を向上したい
NST回診に同行する看護師を増やしたい

<現状>

- ・NST回診の加算を算定する条件の「一定の研修を修了した看護師(他の算定と重複不可)」が、昇格・異動・産休により減少(6名中管理職1名、院外異動1名、5月末～産休1名となる)
- ・当番制で運用中だが、人数減少による当番頻度増加は、2交代勤務の勤務調整が困難
- ・令和6年度6月以降の算定に支障をきたす可能性がある。

<提案事項>

「一定の研修を修了した看護師」を毎年3名ずつ増やし、産休や異動にも対応できる体制を作る
※NST回診への同行条件は、本研修40時間受講終了のみ
※本研修を受講終了後、学会が定めるポイントを満たし、学会が主催する資格試験に合格すると、「NST専門療法士」の資格が取得できる

研修名: 日本栄養治療学会「栄養サポートチーム専門療法士」認定規定に基づく臨床実地修練

日 程: 2025/6/23(月)～6/27(金)

AM8:30～PM17:15 (日勤で1日院内で研修 連日5日間)

条 件: 栄養管理・NSTに興味のある看護師

病棟におけるプリセプターやチームリーダーなどの役割はもたない

研修終了後は月1回NST回診に同行し、経験を重ねる

カリキュラム: 別紙参照(NST小林管理栄養士までお問い合わせ下さい)

申し込み手順:

- ①本人から所属長へ相談
- ②勤務調整、役割調整の可否を判断
- ③所属長が「3西摂食・嚥下CN(7277)」または「NST小林管理栄養士(6221)」へ連絡(4/25締切)
(電話またはCoMedix)
→受講したい人の所属、氏名、現在の役割(役職、所属委員会、研究、リーダーレベルなど)を伝える
- ④NST事務局が外部からの受講生も合わせて人数調整を行い、受講年度を調整
(応募多数の場合は先着順で次年度になる可能性もあり)
- ⑤4月中にNST事務局が受講者名簿を看護部長・副看護部長へ提出
- ⑥看護部長・副看護部長から所属長を通して受講の可否を伝達
- ⑦所属長は本人へ受講の可否を伝えるとともに、受講する場合は6月の勤務を調整
- ⑧5月中旬にNST事務局から本人へ、カリキュラム、必要な準備、資料について直接連絡

<受講するメリット>

○本人にとって

- ・無料で、かつ勤務時間で受講できる
- ・自部署の患者の栄養管理の質向上に寄与できる
- ・本研修修了者自身が部署を移動しても、必ず役に立つスキル
- ・本研修は多職種が講師を担う講義も受講でき、栄養管理の基礎から学ぶことができる
- ・研修基準を学会が指定しているため、年度や講師の違いによる研修内容の差が少ない

○部署にとって

- ・自部署の栄養管理の質向上に寄与できる人材が増える
- ・NSTリンクナースや、病棟の栄養係などの役割を任せられることができる
- ・病棟内でNST介入許可が出ない場合でも本研修修了者に方法を相談できる
- ・他病院での研修に出す場合は、毎週・毎月通って半年ほどかかるが、当院は短期集中講座のため、その期間のみで受講終了する(勤務調整がその期間だけで済む)
- ・中堅看護師の目的意識の向上、スキルアップとして利用できる
- ・若手看護師のあこがれ、目標意識(いずれは専門療法士や認定看護師へ)に活用できる